

第15回泉地域審議会発言要旨

委員	事務局
平成22年度主要事業について	
資料に基づき、平成22年度の主要事業について事務局より説明する。市全般の事業説明に続き、泉支所に関する主要事業について、総務振興課、市民福祉課、農林水産事務所、建設事務所のそれぞれの事業内容を説明する。	
中産間地域直接支払事業について、平成21年度で終了と聞いていたが、どんな状況ですか。	今年度以降も継続されます。
今年の特産品祭りについて、盛況であった。特に限定商品券が好評で売り上げアップに繋がったと思うので、来年も是非実施してほしい。茶品評会について、今回一般茶8点の出展にとどまり残念に思っている。以前は出品者に対して補助金が出ていたが現在は無くなっており、今後復活を考えてもらえないか。	平成20年度の全国茶品評会熊本大会までは、生産者に対して補助金を交付する約束で実施していたが、それ以降の支出は取りやめており、今後の支出も無理と考えている。 特産品まつりの品評会対策としては、出品量を審査基準に必要な最低量に抑えるなどの具体的な協議を振興会やJAとも協議していきたいと考えている。茶に限らず他の林産物も含め総合的に品評会のグレード上げる方策について考えて行きたい。
H24以降全品の出展量が10kから4kに変更になり、手摘みも可能になる予定であり、小規模生産ラインの整備について市、JAで対応を考えてほしい。産地賞を獲得し地域ブランドを高めるためにも必要である。	
山の幸地域づくり支援事業について、内容はどういったものか。五家荘地域振興会でも山の幸出荷部会が設立されており、そうしたところへの支援が出来るのか。	この事業は、振興プラン作りなどに対して県が1/2、市が1/2を負担して支援するものです。ソフト的な事業が対象となります。

委員	事務局
<p>特産農産物協議会の中で、今回、柚子の出荷が大幅に増加したことを受け、販売ルート の確保や生産調整を図る上から柚子部会が設置された。</p> <p>J Aとしても、ゼンマイの需要に対応するために生産者へ奨励しているが、高齢化等の問題で出荷体制に難があり苦慮している。市とも今後協力して推進していきたい。</p>	
<p>八代産材利用促進事業の補助金額はどうか。</p> <p>来年は、九州新幹線が全線開通するが、新八代駅から五家荘への定期観光バス等の運行は考えられないか。</p>	<p>今年度も、八代産材を利用した住宅建築に対して助成を行なうが、1件20万円、20件400万円を予算化して対応する予定です。</p> <p>先般、五家荘地域振興会から白タク特区の可能性について、支所に要望があり運輸支局等と協議したが、実現の可能性が極めて低いと言ふことで断念した経緯がある。</p> <p>但し、五家荘への公共交通機関の整備に関し、現在、市が取組んでいる公共交通再編計画の中で、人吉～五木村（上荒地）の路線を椎原まで延長するために関係自治体と実質的な協議に入っており予定では10月1日からの運行が可能となり、公共交通機関が五家荘に入るといふインパクトが観光客増へ繋がることを期待している。</p> <p>新八代駅からのルートについては、タクシー、マイクログバス利用以外による交通手段がなく、市内の交通事業者と五家荘地域振興会の連携による対策を今後検討する必要がある。</p>
<p>住民自治によるまちづくりの推進について</p>	<p>住民自治によるまちづくりの推進について、事務局から平成15年の協議開始から今年3月の行動計画策定までの経緯と今年度6月末から取り組む住民説明会で一般住民に対して実施する内容について、</p>

委員	事務局
	<p>現状と必要性、具体的な行政支援、補助金等の交付、実施目標を5年後として、今後住民説明会の実施、モデル地区の選定、各地区協議会の設立へのスケジュール等について関係資料で説明する。</p> <p>その他、泉町の住民説明会の日程について、9月6日（月）午後7時から振興センターいずみでの開催を予定している。</p>
<p>住民自治によるまちづくりを実施する地域協議会の設置について、泉町ではいくつを考えているのか。</p>	<p>市の方針としては、小学校校区を一つの単位と考えているが、あくまで地域住民の総意の上での判断である。</p> <p>泉町では現在、区長会や役員会の中で協議した範囲ではありませんが、地域性を考慮した場合の、4地区（下岳、柿迫、栗木、五家荘）よりも、現在実行委員会を組織して取組んでいる「敬老会」の実施単位である、下岳、柿迫・栗木、五家荘の3地区でそれぞれ協議会を設置したほうがいいとの感触です。</p>
<p>私は、三小校区で一つ作ることを望んでいます。</p>	<p>今後の地区内協議の中で、決まっていくことと思います。</p>
<p>住民説明会の説明資料は今日の印刷物での説明になるのか。内容が難しくこれでは分かりづらいと思うので、DVDとか分かり易いもので説明しないと、中々住民の理解は得られないと思うが。</p>	<p>住民自治によるまちづくりの推進については、私ども説明する側でも難しいのですが、今回の住民説明会での資料は基本的には今日の資料がベースになります。</p> <p>ただ、今回は住民自治の先進地であり、福岡県宗像市の取組みをまとめたDVDを説明の前に皆さんに見ていただいて、基本的な部分を理解してもらったうえで説明に入る予定ですのでよろしくお願ひします。</p>
<p>住民自治をなぜ推進するのか、根本的には部分の国に財源がなくなり行政運営が行き詰まってきたりなどを具体的に説明すべきと考えますか。</p>	<p>出来る限り、簡単にまとめつもりでいます。</p>

委員	事務局
<p>実施に向けてのハードルは大変高いものと理解していますが、聞くところによると、何事についても、一步を踏み出すことが大事であると申します。9月6日に実施される泉地区の住民説明会に一人でも多くの皆さんが参加されるように私たちからも啓発していきたいと考えます。</p>	
<p>第二次八代市地域福祉計画について</p>	<p>市障がい福祉課から、市の福祉政策と市民生活の現状と課題について、人口構造では、人口減少の現実と世帯数推移に見られる核家族化の進行、少子化と著しい高齢化の進行による要支援者が増加している。今回、市民意識調査（アンケート）を実施し、課題解決に向けた取り組みとして、地域のすべての人が協力し合い、互いに支え合う地域社会をつくる取り組みや仕組みづくりを推進するために今回第二次八代市地域福祉計画を策定した。</p> <p>内容として、3つの基本理念、同じく3つの基本目標、11からなる基本施策について、地域・市民の取組み、行政の取組みに分けて説明する。結びとして、地域住民・行政機関・福祉関係機関や団体・企業などの地域を構成する人々が協働して何が出来るか、またはどのような協力でできるかを考え、行動できる地域を創造していくことが今後の地域福祉のあり方であると考えます。</p> <p>市には、母子・寡婦連合会が組織されていますが、単組への補助は現在実施していません。</p>
<p>単位母子会への助成の状況はどうなっていますか。以前は助成金が交付されてましたが。</p>	
<p>母子・父子家庭の相談窓口について、本庁一本であれば簡単に行くことが出来ないのですが、支所といてもあまりに身近で相談するこ</p>	

委員	事務局
<p>とを迷う状況もあり、難しいと思いますが、相談窓口の充実についてはプライバシー保護の観点から十分な配慮をお願いします。</p>	
<p>生活保護世帯が増加している現状があるが、原因はどのようなものと認識されているか。</p>	<p>一昨年のリーマンショックから始まった極端な雇用情勢の悪化で職を失った人が増えてきたこと。特に八代地域では鏡町にあったパナソニック系の会社が倒産したことで多くの失業者が発生しています。</p>
<p>八代市次世代育成支援後期行動計画について</p>	
	<p>「次世代育成支援対策支援法」に基づき次代の社会を担う子どもの健やかな成育のための環境整備を推進するため、市民・地域・行政が協働で取り組む施策・事業の方向を明らかにするために策定したもので、前期（H17, 4～H22, 3）に引き続き後期（H22, 4～H27, 3）計画としてまとめたもので、6つの基本テーマ、23からの基本施策としてまとめました。</p> <p>計画には12の事業項目にそれぞれ目標数値を定め、実現に向けて取り組んでいきます。</p>
<p>先ほどの地域福祉計画と同様にこの計画も地域住民の支えあい、協働を強調した表現が多く、住民自治によるまちづくりの推進が計画実現の重要な要素であるように感じました。協働の必要性を再確認した気がします。</p>	
<p>八代市過疎地域自立促進計画及び辺地総合計画について</p>	
	<p>時限立法であった、過疎地域自立促進特別措置法が本年3月で期限を迎えましたが、国の方針として6年間に限って延長することが決定されました。</p>

委員	事務局
<p>現在検討中の公共交通再編に絡み、泉地区に導入される乗合タクシーの運行に過疎債は使えるのか。</p> <p>過疎債の利用が年々減少しているようなので、十分な配慮を居お願います。</p>	<p>これまで、義務化されていた同計画が今回から希望策定に変わったが市としては、今後の事業推進に伴う有利な過疎債の利用に必要な計画として旧坂本、東陽、泉の3地区について計画を策定して、地域振興に努めていきます。</p> <p>併せて、辺地総合計画の策定期間にきており、支所とも十分に協議しながら今年度9月議会での計画承認に向けて取組んでいきます。</p> <p>起債の利用については、6年間の内に改善等の効果が表れるものについて充当が可能であると理解しているので、乗合タクシー事業の性質からみて、利用は出来ないかと判断している。</p> <p>計画の策定に当たっては、支所と十分に協議しながら地域の意見を取り入れながら取組んでいきます。</p> <p>利用に際しては、財政部署や事業担当部署との調整を図っていきます。</p>
<p>八代市乗合タクシー事業について</p>	<p>今回の事業実施は、慢性的な乗合バス運行への赤字補てん補助の解決と交通空白地域対策として、10人乗りのジャンボタクシー等を使用する「乗合タクシー」を運行することにより、地域住民の生活に必要な交通手段を確保することを目的に実施するものです。</p> <p>今年、10月1日からの運行開始を目標に進めており、運賃は現行の路線バスの運賃並に設定している。予約が基本であり、予約のない日は運休することもあります。これまでバスの行かなかった地区への乗り入れが可能となり、より住民の皆さんの利用しやすいものとなっています。</p> <p>これに合わせ、五家荘地区への路線バス乗り入れも検討しており、現在、</p>

委員	事務局
	<p>人吉市、山江村、相良村、五木村との協議を進めており、10月1日から五木村上荒地～椎原区間の運行を開始する予定です。</p>
<p>これまで、バスの行かなかった地域も乗合タクシーでカバーできるのであれば、住民にとって良いと思う。</p>	
<p>今回、バス路線の再編を実施した場合、バス事業者の補助金が増えるようなことはないのか。</p>	<p>市の試算では、およそ3000万円の減額を見込んでいます。</p>
<p>泉分校の通学に関して、直通の路線バスを残してもらったことに大変感謝している。 就学時間の関係で、乗合タクシーを利用した場合に今の産交バスの定期券が使えないと聞いたが、使えるようにならないか。</p>	<p>分校生の通学に関しては、路線バス3往復（朝1、夕2）確保している。定期券の使用は、事業者が異なる場合は通常使えないが、運行開始後において、事業者間の協議次第では相互利用の可能性はあると考える。</p>
<p>乗合タクシーに関して、利用者優遇制度として回数券等の割引制度の導入について考えていないか。</p>	<p>今後、検討していきます。</p>
<p>泉分校が休みの土日とか、夏休み、冬休みの時も路線バスは運行するのか。</p>	<p>基本的には、毎日運行します。</p>
<p>その他</p>	
	<p>本日は、地域課題の議論まで行きたいと考えていました、協議項目が多く、時間がかかりましたので次回から具体的な協議に入りますのでご了承ください。 それと、7月21日（水）午後7時から振興センターいずみを会場に市長との意見交換会が開催されます。 同じく、9月6日（月）午後7時から住民自治によるまちづくりの推進についての住民説明会が開催されます。</p>

委員	事務局
<p>一人暮らしの高齢者に対して、孤独死等の話を聞きますが、泉町では何か、対策を取っていますか。</p> <p>その設置状況は。</p>	<p>CATVを整備した際に、独居老人安否確認装置を同時に整備して希望される、ひとり暮らしの高齢者宅に設置して毎朝、本人がボタンを押すことで安否の状況を確認することにしていきます。</p> <p>事前に、外泊等で不在する旨の連絡がなくボタンが押されていない場合は、こちらから電話をしたり、近隣の方に安否確認をお願いするなどの対策を取っています。</p> <p>現在14件程度の設置になっていきます。</p>
<p>会長：他に質問、意見がないようですので、これもちまして第15回泉地域審議会を終了いたします。</p>	<p>お疲れ様でした。</p>